

伊勢湾貧酸素情報（第 6 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は消滅しました。2.0~3.0mg/Lの水塊は形成されていますが、今後、解消に向かうものと思われます。

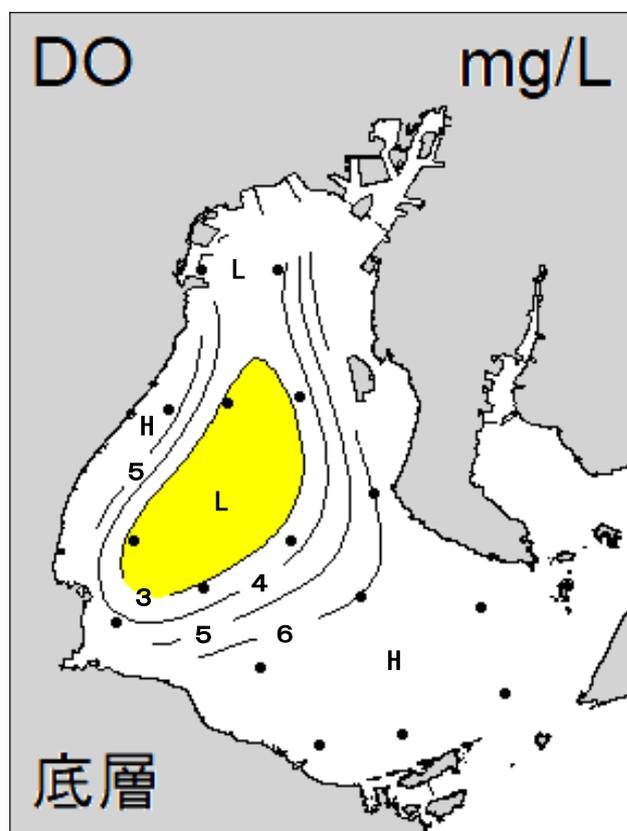
1 1 月 1 日の調査結果

11 月 1 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 19.7 ~ 22.2℃、10m で 19.7~22.8℃、底層で 20.4~23.8℃の範囲にあり、表層と 10m は平年より高め、底層は平年よりかなり高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.4 ~ 7.9 mg/L、10m で 4.7~7.5mg/L、底層で 2.5~7.0 mg/L の範囲にあり、表層と底層は平年よりやや低め、10m は平年並となっていました。

6 月の観測時（6 月 7 日）以来、伊勢湾の低層に広く形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は消滅していました。

2.0~3.0mg/L の水塊は形成されていますが、伊勢湾では、海水の上下混合がおこりやすい時期を迎えており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図